

声

業界の

● 一般社団法人中道農産物加工直売組合
(風土記の丘農産物直売所)

事務局長 志田 昌子氏



業界の現況は？

本組合は、甲府市の農業振興と地産地消を目的に組織化され、これまで組合員にて生産された野菜や果物、またそれらを使用したおまんじゅう等の加工品の製造・販売を行っています。現在は、組合員の高齢化が進み、生産量の低下、後継者不足が課題となっています。

また、本組合はスーパーなどと違い、「消費者」と「生産者」、両者のバランスを考えながら事業運営を行っています。生産者が「出荷するもの」と消費者が「買いたいもの」は多少違いがあります。そのため、この両者の要望をどのようにマッチングさせていくかを常に考えています。

今後の展開は？

本組合の課題として挙がっているのが、前述のとおり「出荷の減少」です。これには、組合員の生産した農産物の集荷システムを確立し、高齢者が直接納品しなくても組合で販売できる体制を整えるなどとして、組合員の生産意欲の向上と農産物の増産を図っています。その他にも「生産研究事業」として、POSシステムを活用して時期ごとによる「売れ筋農産物」を算出し、それらの苗を組合員に提供して生産してもらおう「年間生産計画」の立案に力を入れ、実行に向けて努力します。

現在、本組合の売上は上昇傾向にはありませんが、徐々にこの上昇幅は減少しています。以前は、目新しさや安価等により、多くの消費者に購入してもらっていましたが、現在では先程の課題を始め、同様の形態を持つ販売所が増加し、売上が分散しつつあります。そのため、今後の直売所は「独自性(オリジナリティ)」を出した運営が必要であると思っています。本組合においても、「組合員」と「消費者」、それぞれが喜んでもらえるようなオリジナルリティ溢れる事業運営、直売所運営を目指していきたいです。



中道農産物加工直売組合